

安曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

1	会議名	第3回 安曇野市男女共同参画推進審議会(第4期)
2	日時	平成27年11月5日 午前10時00分から午後0時06分まで
3	会場	安曇野市役所 本庁舎 共用会議室305
4	出席者	湯澤委員、田中(吉)委員、下里委員、高山委員、増田委員、日比野委員、菅澤委員、小林委員、平田委員、降旗委員、宮下委員、細萱委員 (欠席委員) 近藤委員、田中(好)委員
5	担当課出席者	村上副市長(委嘱式のみ)、藤松部長、市川課長、山口係長、堀田主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成27年12月25日

協 議 事 項 等

【協議事項】

- 1 平成26年度第2次男女共同参画計画の実施状況について
- 2 平成27年度の推進事項及び実施計画について
- 3 その他

【会議概要】

- 1 平成26年度第2次男女共同参画計画の実施状況について
- 2 平成27年度の推進事項及び実施計画について

【要旨・主な意見】

事務局:平成26年度第2次男女共同参画計画の実施状況及び平成27年度の推進事項及び実施計画についての説明

会 長:質問、意見があればお願いしたい。

委 員:資料に「JIS8341-3:2010 等級AA 準拠を目指す」とあるが、具体的にどのようなコンテンツを作るのか。

事務局:市のホームページを来年3月に新しくすることを計画している。今の内容をそれぞれ見直していく。JISについては、誰でも使いやすく見やすいものになる予定。

委 員:JISについては、障がいのある方も見やすいものを作成するという意味であるが、ホームページでは、音声などで紹介するのか。

事務局:読み上げ機能についてか。

委 員:目の不自由な方にどのような形で行うのか。コンテンツの作り方について詳細を聞きたい。

事務局:国の基準で使いやすくなることを根底に置き、どんな形でも閲覧することができるよう、すべての人に使いやすいものを目指している。基準をクリアするためにも、読み上げ機能については入れる予定である。次回開催時には、細かく説明できると思う。

委 員:資料にある、「3 男女共同参画社会づくり 14 インセンティブ制度導入検討」に男女共同参画との関連や具体的な案件について教えてほしい。

事務局：県を参考にすると、県では女性の技術者の採用に対して加点をしている。加点が入札において有利になる制度である。市の入札担当と話し合ったところ、県では建設工事の入札に対してはインセンティブで有利になるが、その他のものはメリットが無い。市で行う場合は、他の方法で考えていきたい。

3 その他について

【要旨・主な意見】

・女性活躍推進法について

委員：女性活躍推進法について、従業員 301 人以上のところは事業主行動計画を立てないといけないが、安曇野市役所はどうか。

委員：市役所も企業の一部と捉えればもちろん作る必要があると思う。市長にも実際にぜひ見ていただきたい。

事務局：女性活躍推進法の中では、地方公共団体では人数に関係なく、特定事業主行動計画を定める必要がある。

事務局：市でも女性が活躍できる環境整備を整え、また女性の方にもキャリアデザインをしっかり描いていただき、女性の研修制度も昨年から取り入れながら、また PDCA サイクルを意識しながら、最終的には目標値に近づけるようにする。

委員：女性が職場へ進出するのは子育て、介護といったいろんな問題を抱えて進出するわけである。職業生活の支援・家庭の支援と資料に載っているが環境整備を図ると羅列したような言葉が多い。実際に働いて、女性が何か不具合で働けなくなった場合、行政として受け止める場所があるか。

今女性が直面している問題に相談ステーションを作って受け止めるという意見が無いのか。

また、協議会の構築とはどういうことか。

事務局：協議会の構築とは、具体的にどういったことを設置ということは見えていないが、「女性の活躍を推進することを協議する場」ということで、例えば行政だけではなく、企業・団体も含めた協議会を作り、その中で女性の応援をしていきたいということである。

また、女性相談の主な担当は子ども支援課になる。当課でも女性相談の研修を受けており、実際に相談を受けた際に相談内容の振り分けをしている。これから多種多様な相談になると思われる。相談や悩みを受ける体制を、今後も国、県の動向を見て行っていきたい。

そして、第3次男女共同参画計画に女性活躍推進法の行動計画を入れていく予定である。ワーク・ライフ・バランスや多文化も組み入れて、男女、障がい者の方、国籍の違う方、そういうものを含めたアンケート結果も取り入れ、安曇野市の行動計画に反映させていきたい。

・その他

委員：7月のフォーラムに出席した。講師が、順序を追っていくことより、トップダウンについて強くおっしゃっていたが、とても大事なことだと思う。

会長：今お話があったが、市長も出席した7月に行われたフォーラムには、長野県前副知事の

加藤さゆりさんを講師に迎え講演を行った。加藤さんは、男女共同参画社会づくりは、皆の意識が向かない限り、条例や計画を作るだけでは意味がない。やはり、トップダウンがいかに重要かを強く述べられていた。条例や計画に従ってコツコツやることが重要であり、やめてしまっただけでは意味がない。男女共同参画社会を作るには、年に一度位は、行政の中でトップダウンについてぜひ考えていただきたい。

委員：男女共同参画活動を長年行ってきて、一つ気になることは、意識改革がどの程度進んできているのか。また、女性の割合が出ているが、女性から感じる点として、女性は男性の陰で不安定で心細いような立ち位置で仕事をしていることが見受けられる。男女共同参画と謳っても、やはり女性にも不安な面があり、その点についてもう少し考えて活動しやすいよう推進してほしい。

民生児童委員に関しては、女性の割合が当初 30%弱から 50%を超えてきた。福祉の分野では、男性も女性も心がけることは一緒である。また地域性によって仕事をしており、このように女性も活躍できる良い点もあるが、まだまだ名前がついたとしても心細い部分があり、追いついていかない部分がある。しっかり見極めて考えていけたらと思う。

委員：現在、83名の区長のうち、1名が女性である。区長は年数を重ねてくると負担が多くなるが、唯一の女性区長は6年目とのことすごいのと思う。区長の任期は1年から2年と各地域によるが、それを長年続けられることは本当にすごいことである。女性の区長が、どういう思いでやっておられるのか把握していないが、区長の仕事は年々負担が多くなっていると痛感することから、やはり本気でやっておられるのではないかと。重要なことは、なられた方がどういう意識でなったかではないだろうか。

また、最近の校長先生たちは女性の数が昔より非常に増えてきている。急に変わるわけではないが、いろんな面で、女性の進出が教育社会でも進んでいると改めて感じている。

委員：民生児童委員は、女性の委員に相談したいとか、あるいは男性の委員に相談したいといったことがたまに出てくる。男性が担当している地区でも、女性に相談したいからと言って隣の女性委員の方に相談しに行ったケースもある。また、逆のケースもある。そういう問題があるので、民生児童委員の人数は男女半々くらいが良いのではと思う。

委員：資料の女性の割合の表を見ていると、ほとんど女性の人数が減っている。割合を上げるよう、市の方でも努力してほしい。

会長：市役所の女性職員でも若い方がたくさんいるように見受けられるが、40歳以上の中堅職の女性の状況はどうなっているか。

事務局：女性の係長の割合は年々少しずつ上がっている。目標値の25%に持っていけるようにしたい。女性自身もやる気を持っていただかないと、業務に責任感がないといった意見もある。係長を担うのは、大体43、44歳位からで、その前後の年齢で意識を持っていたらいいよう、女性のための研修会を行っている。

会長：日本では、ヨーロッパに比べて女性が活躍できないという環境がある。なぜヨーロッパの方で女性が活躍しやすい環境が進んだかということ、理由の一つに声を上げたこと、女性が働かないと労働力が足りなくなったというのも事実である。女性はチャンスがあればきちんとついてくる人もいる。男性でもいくらチャンスをあげてもついてこない人もいるので、男女問わずチャンスをきちんとあげるべきである。キャリアプランが個人個人作れるようにして人間を作っていく、芽のある人にチャンスを与えてあげることが重

要だと思う。社会全体としてそういう行動が起こって欲しい。

会社の中、職場の中も同じだと思う。例えば、男性が育児休業を取ったら、周囲の見る目が変わってしまうような環境を会社の中で作ってはいけない。そういうことを組織の中で話す機会を設けてくれればありがたい。

企業人権教育講演会では、ワーク・ライフ・バランスの話があった。大勢の方にぜひワーク・ライフ・バランスのことを聞いていただいて、企業は生産率も上がったり実務的なところも上がったりする話もあったので、世の中全体が変わってくれればと思う。ぜひ行政も見本となるようなことをしてほしい。

男女共同参画が進んでいる都市と交流したい。男女共同参画社会をどのように作ってあげばいいのか見本になるようなことを行政で作っていただきたい。

副会長：市は男女共同参画に協力的な事業所や企業に、表彰や認定をして広く紹介していく制度を推進してほしい。以前上田市の旅館に泊まった際、男女共同参画に理解のあるということで、表彰状があった。ぜひ安曇野市もこんなことを参考にしながら行ってほしい。

・次回開催日について

平成 28 年 3 月に第 4 回目を開催予定